

## こどものはったつ相談室



子どもたちの健やかな発達や実りある学習に繋がるよう、  
通級指導教室「まなびの教室」<sup>なつめてつや</sup>夏目徹也先生によるコラムを  
連載しています。



問合先 こども相談センター

TEL 6 2 6 - 1 1 6 5 FAX 6 2 6 - 2 1 8 7

## 第2回テーマ「視知覚・眼球移動」

### ■どんな力？

「視知覚」は、ただ見えるだけでなく、その物が何であるか、色や形などを検索できる力と言えます。そのためには、視知覚だけでなく「眼球移動」もできなければなりません。身の回りの情報の6～7割ぐらいが「見る」ことから入ってくると言われていますから、生活全般に関わってきます。

### うまく育っていないと

- 絵を見たり本を読んだりして内容が理解できない
- 人の表情を読み取ることが苦手
- 物が飛んできた時に避けづらいなどがあり、ケガをしやすくなる

### うまく育つと

- 見たり読んだりすることで、内容が理解できるようになる
- 周りの状況がわかり、自分の身を守り安全に過ごしやすくなる
- 気持ちや体が楽になり、生活しやすくなる

### ■生活の中で育てる

#### のんびりとなかよく歩いたり、自転車で出かけたりしましょう

家の周りでも、どこかに出かけた時でも子どもと一緒に歩いたり、自転車に乗ったりしましょう。そうすると、いろいろな物が目につきます。気になったら立ち止まってじっくりと見るでしょう。これがいいのです。ただ時間を気にしながらだと、じっくりと見る事ができないので、時間の余裕が必要です。

#### ボールなどを投げ合ったり、蹴り合ったりして遊びましょう

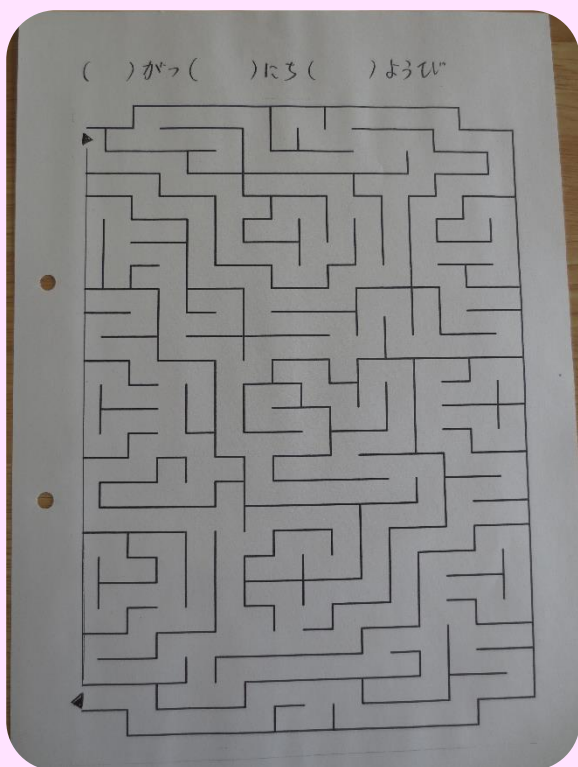
目で追いながら遊ぶので、自然と目が動くことになります。ボールでなくても、動いている物を目で追う遊びなら十分です。そして、大事なことは遊びを楽しむことです。楽しいと何度も遊びたくなりますから。

## ■通級指導教室の教材

視知覚を育てるために、通級指導教室で行っている教材を紹介します。是非参考にしてください。

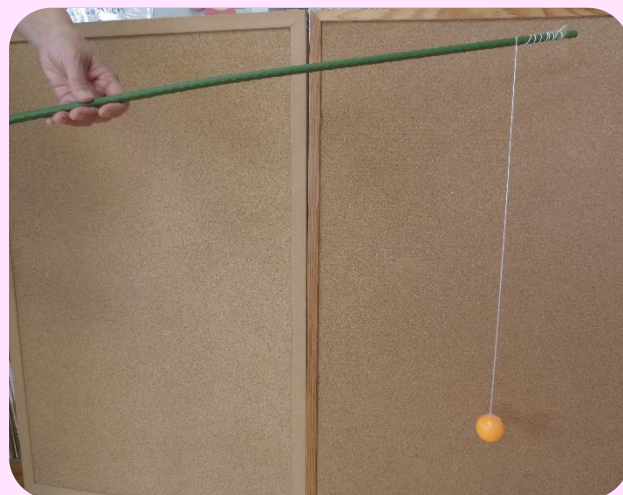
### 間違い探しや迷路などのプリント

間違い探しや迷路、図形写しなど、子どもがしっかりと見て、探したり書いたりします。見てすぐにわかる物から隅々まで細かく見なければならぬ物まで、段階的に多種そろえています。無理のないように子どもの様子を見ながら楽しんでいきます。



### ゆらゆらボール

園芸用支柱にたこ糸を縛り、糸の先にピンポン球をつけた教具を作ります。子どもの顔の前でピンポン球を左右に揺らします。子どもは顔を動かさずに、眼球でピンポン球を追います。次に、人差し指で動いているピンポン球を突きます。左右の指、左右の足でも行います。



日常生活の中で、楽しく取り組めると長く続きますし、家族の楽しみが増えていくと思います。